

ミニシタ－
あぜみち通信

* * * * *

令和2年3月1日

第231号

編集・発行：(一社)愛知県農業会議

◎ **都道府県農業会議専務理事・事務局長会議が開催されました**

2月4日に東京都千代田区の「参議院議員会館」において、(一社)全国農業会議所主催の都道府県農業会議専務理事・事務局長会議が開催されました。

冒頭、柚木専務理事から、「①食料・農業・農村基本計画の見直しが進められているが、産業施策と地域施策のバランスを図ることが重要であり、また、中山間地域の対策も総合的観点から行う必要がある。こうしたポイントを中心に議論を進めていくこととなる。②昨年度農業委員会組織において不祥事が発生しており、綱紀の粛正、コンプライアンスの徹底を図っていただきたい。③台風19号等に関して多くの農業委員会等から義援金の協力をいただいたことにお礼を申し上げる。」などの挨拶がありました。

主要会務報告に続き、協議事項にはいりました。

協議では最初にコンプライアンス研修が行われ、高木賢弁護士から「農業委員会関係の最大のリスクは「許可権限」にあるため、①適正な手続きを踏むこと、②透明性を確保し、情報を共有すること、③詳細で正確な記録を残すことが重要である。」などの講演がありました。

続いて、①令和元年度補正・令和2年度農林水産関係予算の概要、②令和2年度一般社団法人全国農業会議所の事業計画(案)・収支予算(案)、③当面の農政対策、④当面の担い手・経営・人材対策、⑤農業者年金の加入推進、⑥当面の農地・組織対策等について協議しました。

◎ **常設審議委員会(2月)の審議状況について**

2月6日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。2月の諮問は、農地法第5条に基づく転用事案14件、164,686㎡について審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

(参考) 諮問農業委員会

春日井市(3件)、犬山市(1件)、岩倉市(1件)、北名古屋(1件)、大口町(3件)、岡崎市(1件)、刈谷市(1件)、西尾市(1件)、高浜市(1件)、新城市(1件)

◎ 地域協議会会長会議を開催しました

2月6日に「愛知県三の丸庁舎」において、地域協議会会長会議を開催しました。

最初に事務局から、今後の農地利用の最適化に向けた取り組みとして、①11月22日開催の常設審議委員会(農政)以降の状況、②県内における農地の利用集積の状況、③今後の対応について説明をしました。

出席者からは、次のような意見が出されました。

- ・愛知県は地域の特性が極端に異なっている。この地区はこれが重点であるということとある程度具体的に明記した方がよい。
- ・農地利用最適化を推進する上で、農業会議として、国、県に積極的に要望を出していった方がよいと思う。
- ・農地の保全と開発事業の兼ね合いが問題となっている。

農業会議としては、これらのご意見や農業委員会事務局に対する巡回支援でお寄せいただいた声を反映させて令和2年度の事業計画を策定してまいります。

◎ 農業委員会事務局に対する巡回支援を実施しました

2月5日(県三の丸庁舎)、2月7日(豊橋市役所)、2月10日(犬山市役所)、2月13日(常滑市役所)、2月14日(安城市役所・新城市勤労青年ホーム)、2月20日(清須市役所)、2月26日(愛西市役所)、2月28日(豊田市役所)において、各地域の農業委員会事務局に対する巡回支援を実施しました。

今回の巡回支援では、農地利用の最適化の推進及び今後の活動と農業委員会の運営を大きなテーマとし、人・農地プランの実質化と農業委員会の取組状況、農地利用最適化交付金の活用などについて、意見交換を行いました。

◎ 農業者年金業務担当者研修会を開催しました

2月7日に「JAあいちビル西館」において、農業委員会事務局職員やJA職員を対象に「農業者年金業務担当者研修会」を県農業会議とJAあいち中央会の共催により開催しました。

研修事項として、独立行政法人農業者年金基金給付課の佐々木主査から、農業委員会及びJAにおける基本的業務について、特に年金等給付事務の裁定請求関係手続きについて説明をいただきました。

その後、農業会議から「農業者年金の加入推進の取組強化」について、JAあいち中央会から「農業者年金の業務の推進」について、それぞれ説明しました。

◎ 農地等の相続に関する研修会を開催しました

2月12日に「愛知県三の丸庁舎」において、農業委員会事務局職員等を対象に「農地等の相続に関する研修会」を開催しました。

全国農業会議所の原修吉専門相談員から「誰にも必要な相続対策」と題して、相続税納税猶予制度の内容や生産緑地制度等について説明をいただきました。

◎ 農地中間管理事業の推進に係る意見交換会が開催されました

2月13日に名古屋市中区の「東海農政局」において、東海農政局主催の農地中間管理事業の推進に係る意見交換会が開催されました。農林水産省からは、峯村経営局農地政策課農地集積促進室長、橋本東海農政局次長他が出席し、東海3県からは各県庁、農地中間管理機構、農業会議、県土連、JA中央会の関係者が出席しました。

最初に峯村室長からは、改正農地バンク法の対応状況や農地バンク事業の当面の方向性などについて、東海農政局からは、管内における人・農地プランの実質化の状況及び今後の方針について説明がありました。

続いて各県から、改正農地バンク法の対応状況と課題・問題点について、令和元年度の課題及び課題を踏まえた今後の農地バンク事業の推進方針について、それぞれ説明するとともに、各県における取組事例報告も行いました。

その後、各県における取組内容、課題への対応などについて意見交換を行いました。

◎ 農業委員会レディスあいち総会が開催されました

2月17日に「豊橋市役所」において、令和元年度農業委員会レディスあいちの臨時総会が開催されました。

福井代表の挨拶の後、議事に入り、令和2年度事業計画及び収支予算の決定、規約の改正など三つの議案はいずれも承認されました。

◎ 女性農業委員・推進委員研修会を開催しました

2月17日に「豊橋市役所」において、農業会議と農業委員会レディスあいちとの共催により令和元年度第2回女性農業委員・推進委員研修会を開催しました。

女性の農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局や県の職員など約60人が参加しました。

最初に、農業委員会レディスあいちの福井直子代表から全国の女性農業委員組織の状況や研修会の開催状況などに関する中央情勢報告がありました。

続いて研修会では、活動事例報告として、①津島市農業委員会の杉山尚美農業委員

から「生産緑地の活用や農福連携による取り組みなど」について、安城市農業委員会の、加藤まさ江農業委員、太田良子農業委員、太田千尋農業委員の3名から「食育推進活動、女性農業者の集いなど女性農業委員活動」について、名古屋市農業委員会の野田幸子会長職務代理から「名古屋市における特定生産緑地制度の周知」についてそれぞれ発表がありました。

その後、グループディスカッションとして、6名程度のグループに分かれ、女性委員の登用、食育など農業理解や農業・農村の振興につながる活動などをテーマに和やかな中で活発な意見交換が行われました。

◎ 東海4県農業会議事務局長・次長等会議が開催されました

2月27日に三重県津市の「三重県勤労福祉会館」において、岐阜県、静岡県、三重県及び愛知県の各農業会議の事務局長・次長等の会議が開催されました。

最初に一般社団法人全国農業会議所の稲垣事務局長から、「農業委員会組織を巡る情勢」として、次の内容の情勢報告がありました。

- ① 農業委員会制度5年後見直しに向けて、これまでの活動評価を積み上げていく。
- ② 人・農地プランに関し、担い手不足により取り組みが進まない地域へは受け手を限定しないプランの策定を呼びかけていく。
- ③ 新たな食料・農業・農村基本計画の骨子には、「農業の成長産業化を進める「産業政策」と多面的機能の発揮を図る「地域政策」を車の両輪として進める。」「経営規模や家族・法人の別を問わず、担い手の育成を進める。」などが盛り込まれている。

その後、新型コロナウイルスへの対応、全国農業新聞東海版の編集企画、各農業会議における令和2年度の取り組みや情報活動（新聞、図書）等について情報交換を行いました。

◎ 今後の主な行事予定

- 3月 4日 常設審議委員会、理事会（県三の丸庁舎）
- 3月12日 全国農業会議所臨時総会（東京都、都市センターホテル）
- 3月24日 愛知県農地集積・集約化推進会議（県自治センター）
- 3月26日 臨時総会、研修会（県三の丸庁舎）

* * * * *

- 4月 9日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 5月 1日 農業委員会新任職員等研修会（県三の丸庁舎）
- 5月13日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 5月15日 農業委員会会長・事務局長会議（県三の丸庁舎）
- 6月 1日 情報提供活動推進会議（東京都、ホテル椿山荘）
- 6月 2日 全国農業委員会会長大会・現地研修（～3日）
（東京都、文京シビックホール他）